

## 平成28年度 学校評価委員会総括

### 1 目標

- (1) 教育活動、学校運営について有意義な「学校評価」を実施する。
- (2) 「評価」に基づき学校運営の改善を図り、教育水準の向上に努める。
- (3) 「評価」を公表し、保護者・地域住民の理解と参画を得て、開かれた学校づくりを推進する。

### 2 取り組み

- (1) 授業アンケート  
授業をより充実したものにしていけることを目的として、全ての授業で、受講する全生徒に対して6月に実施。
- (2) 保護者アンケート  
公開授業に参加した保護者に対して、11月に実施。
- (3) 学校自己評価  
教職員自身による自己評価として、2月に実施。
- (4) 学校関係者評価  
学校評議員による学校評価として、3月の第3回学校評議員会で実施。
- (5) 学校評価の総括について  
ア (1)～(4)の評価及びアンケートの結果を総括し、本校公式HP上へ掲載し公表する。  
イ (1)～(4)の結果は各部署へフィードバックし、次年度の各校務分掌の「取り組むべき課題」に反映させ、教育活動の改善につなげる。

### 3 総括

- (1) 校内各種アンケート  
授業アンケートに関しては、全体として、昨年度より評価を上げた項目が多かった。生徒も教員も毎年入れ替わりがあるので過年度との単純な比較はできないが、各教員が授業をすこしでも充実したものにしようとする日常的に努力している結果であると受け止めたい。各教員への報告は、夏季補習及び9月以降の授業に活かしてもらえよう、夏休み前に済ませた。保護者アンケートに関しては、授業中や休憩時間の生徒の様子などにも触れてもらったうえで、アンケートに記入していただいた。人間関係(教育)

の基本に立ち返るという意味で、「笑顔で挨拶を交わそう」と本年度改めて全校で取り組んできたことにも一定の評価をいただいた。大人側の率先垂範の重要性を指摘する意見も寄せられた。学校自己評価に関しては、ペーパーレス化の流れに沿い、校内グループウェア上で実施した。文化祭や体育大会などの行事、生徒への安全教育、家庭・中学生・地域への情報発信などにおいて、評価が高かった。一方、校外研修で得た知見や情報の共有化、地域や外部の関係機関と連携した危機管理体制の構築などの項目において厳しい評価がなされた。時間のなさや、関連機関との連携が多く職員に見えにくいという側面もあるが、改善を図っていきたい。

## (2) 学校関係者評価

学校評議委員の先生方に『学校自己評価』『授業アンケート』『保護者アンケート』及び各年次が実施する『生活実態調査』の結果、各部部长・年次主任からの報告などを参考に学校に対する評価をお願いした。全体として良好な評価をいただくとともに、「生徒が充実した学校生活を送っている」ことに対する感謝の言葉や学校の取り組みに対する応援の言葉をいただいた。意見交換の場では、「企業において、心の病が原因で仕事を続けることができない社員が増えている。学校においても、生徒と密にコミュニケーションを取っていただいて、欠席を重ねる生徒がいなくなるようにご指導を願いたい」との注文や、「学力向上や協調性を養いつつ、集団の中から突出した生徒をいかに対応し育てていくか」といった課題も示された。